

イカルチドリ

Charadrius placidus J.E. & G.R.Grey

チドリ目チドリ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

県内では梯川、手取川、犀川などの河川氾濫原に依存して繁殖し、生息数も少ない。

形態

全長21cm。翼長15cm。体重70g。頭頂と上面は砂褐色で下面は白い。前頭部と目先から耳羽にかける部分は褐色味のある黒色である。胸に細い黒色の帯があり、淡色の翼帯がある。目のまわりの裸出部は黄色であるがあまり目立たず、冬羽ではかすかになる。嘴はやや長く黒色で、脚は淡黄色である。

国内分布

北海道から南西諸島までみられるが、繁殖しているのは本州、四国、九州である。北日本では繁殖後暖地へ移動する。越冬北限は、太平洋側は青森県、日本海側は新潟県といわれている。

県内分布

河川の中流域の中州や河原で繁殖する。渡りの時期には県内各地で観察されることがあるが、数は少ない。冬期は大聖寺川下流、梯川中流、手取第3ダム、手取川中流から下流、七尾西湾などで越冬している。

生態

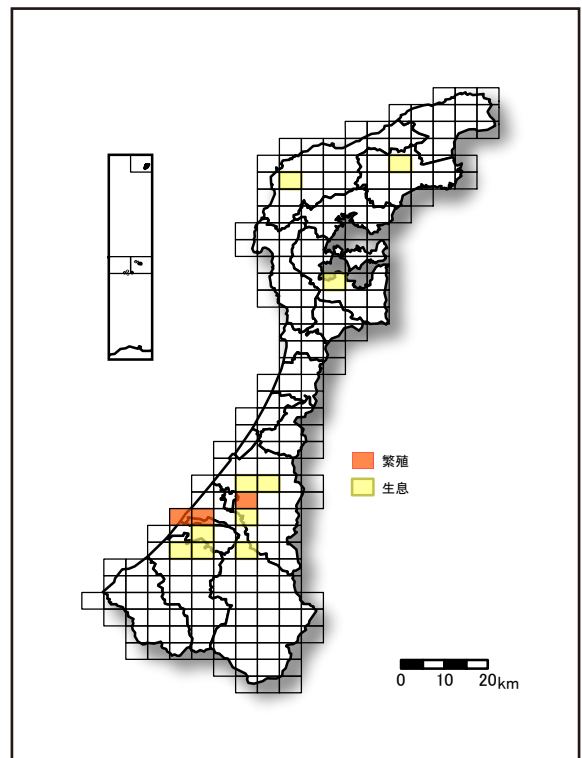
河川の中州や河原で4～7月に繁殖し、砂利、小石、小枝などを産座に集めた簡単な巣を地上につくる。一腹卵数は2～4個で、約27日で孵化する。孵化したヒナにはすでに綿毛がはえていて、独力で採食する。採食場所は主に川筋や湿地で、餌は水生昆虫などの小動物である。

生息地の条件

営巣場所は植物が繁茂しない安定した河原であるが、人間活動による影響を受けやすく、人為的影響が少ないことが条件となる。

生存の危機

繁殖環境が河川の氾濫原に特定される上、侵入してくる4輪自動車、オートバイ、釣り人など、人間活動の影響によって繁殖がかく乱されやすい。(A)



県内の分布